

## 議会改革検討委員会 会議要録

- 1 開催日時 令和6年12月20日（金）  
開会 16時13分  
閉会 16時52分
- 2 開催場所 第一委員会室
- 3 出席した委員  
加藤 誠 一 委員長  
河井 昭 成 副委員長  
重田 剛 委員  
本田 秀 樹 委員  
谷口 典 隆 委員  
野田 武 宏 委員  
駒井 千 代 委員  
河村 浩 史 委員  
清水 ひとみ 委員  
中山 和 行 委員
- 4 事務局職員 箕浦事務局長、保田次長  
総務課 澤村参事、梅本総務係長、吉田主査  
議事課 一丸課長、内田参事、森課長補佐  
政策調査課 佐藤課長、川畑課長補佐、吉松主幹、辻主査、  
松木主査、内藤主任主事
- 5 議 題 (1) 令和9年度以降のタブレット端末等の在り方について  
(2) 若者の議会への興味と関心を深めるための取組について  
(3) その他
- 6 配付した資料 別添のとおり
- 7 議事の経過概要 別紙のとおり

## 議事の経過概要

開会宣告 16時13分

### 1 令和9年度以降のタブレット端末等の在り方について

◎加藤誠一委員長 令和9年度以降のタブレット端末の在り方ということで、説明がございました。この前いろいろと御説明、御協議いただいてこのような形になりましたが、改めてこれにつきまして御意見ございましたらお聞きします。

◎河村浩史委員 端末の形態等は決まったというのは理解しました。ファイル管理システムが今後、まだ不確定な部分があるのかなと思いますけれども、ただこれを判断するにしても、最終的な期限、タイミングがあると思います。これは、いつまでに最終的な決定をしないといけないのか教えていただきたいです。

◎佐藤政策調査課長 プロポーザル方式の中に、最低限の要件だけを入れさせていただいて、それを総合的に判断するということですので、判断する時点は、実際に導入する段階ということになります。

◎加藤誠一委員長 ということは令和8年度ですか。

◎佐藤政策調査課長 令和8年度の末ぐらいになりまして、令和9年度の選挙が終わった後から使えるようにします。

◎辻政策調査課主査 補足させていただきます。令和8年度末ですと、システムが変わると対応が追いつきませんので、令和8年度の早い段階にはプロポーザルを実行させていただきたいと考えております。

◎加藤誠一委員長 令和8年度の夏頃には、仕様書等を決めるという状況でございます。

よろしいですか。これは最終的には議長への報告という形になります。今、河村委員がおっしゃったようなことや、私が見てましても、原則はペーパーレス化を最低条件としますが、まだ時間がございまして、それ以外の操作性、同期機能等の話があったということも加味した上で、その時に判断するということになるような形で答申は残したいと思います。そういう形よろしいですかね。

はい、ありがとうございます。文書の作成につきましては、事務局と相談をさせていただきたいと思います。なお、費用の負担につきましては、端末のサイズ、スペック以外は基本的なベースは今までの通りの状況でございます。今の状況について、事務局どうぞ御説明ください。

**○辻政策調査課主査** 通信費につきましては、2分の1が公務負担で2分の1が議員の方に負担をいただいております。議員負担分につきましては、政務活動費を充てることができるというのが基本的な考えでございます。あとアプリですが、ダウンロードしたときの費用については、議員の方に負担していただくということもありますが、それ以外のことにつきましては、基本的には公務で負担させていただくという考え方でございます。

**◎加藤誠一委員長** 多分会派でそれぞれ若干違ういますが、通信費については基本的に事務局に半分持ってもらっています。それ以外については、各会派で政務活動費を充てても構わないという話でした。充て方については各会派によって若干違うかも分かりませんが、という状況でございます。今のところ多分個人負担が発生してはいないのではないかと思います、それをベースにするということでございます。ということよろしいですか。

(異議なし)

はい、それではそのようにさせていただきます。タブレットにつきましては以上で終わらせていただきます。

## 2 若者の議会への興味と関心を深めるための取組について

**◎加藤誠一委員長** 次に、次第2「若者の議会への興味と関心を深めるための取組について」を議題とします。

この件につきましては、現在の取組状況を2回目に執行部から聞いておまして、その際の資料を参考としてお配りしています。

それも踏まえて、議会として取り組むことを御議論いただいておりますが、これまでの委員会で頂いた御意見や検討すべき事項などについて、本職において整理しましたので、事務局から説明させます。

**○佐藤政策調査課長** (説明)

**◎加藤誠一委員長** これまでの委員会において、各委員の皆様から御発言いただきました内容をまとめました。

それらを基に、学校等で実施するもの、議会(県庁)等で実施するもの、県民参画委員会の活用の大きな3点で整理しました。

この3点以外で、他にこれをしてはどうかなど、御意見がありましたら御発言をお願いします。

**◎駒井千代委員** 現在、学校において、SDGsなどをテーマとした探究の時間がありますが、社会を課題とした時に議会で議論されたことを議事録等を活用して調べて

いただいたり、県の政策を調べていただくことはありますが、県議会としての委員会や議会での議論もありますので、ぜひそういうところも資料として参考にさせていただき、触れていただくことも大事ではないかと思えます。学校現場に御連絡いただければ活用できると思えます。

**◎加藤誠一委員長** 議員の個別の活動について、報告の中に入れてはどうかと思えます。それぞれの地域で様々な活動をされてる方が多いので、そのようなことも含め、御発言いただければと思えます。

**◎河村浩史委員** 先日、ドットジェイピーの方々との意見交換の場がありましたが、あのような機会を単発で終わるのではなく、継続して実施していくべきだと思えます。

学校等で実施するものについて、学校に投げかけても、手を上げてくれるところは少ないように思えます。

その前段階として、学校と信頼関係を持つ意味でも、まずは意見交換の場を設けた方が、ハードルが低いのではないかと思えます。学校単位で参加してもらうべきなのかは分かりませんが、参加いただいた子供や教員の反応を見てから、次の段階として学校で議員が出前講座を実施するという事に繋げやすくなると思えます。

そのため、ドットジェイピーの方々、メンバーを変えて継続して実施することが大事だと思えます。

**◎加藤誠一委員長** ドットジェイピーの方々との意見交換をしましたが、他の議員も含めて若者の意見を聞くことで、自分の活動の参考にもなるのではないかと思えました。

**◎河村浩史委員** 教育委員会と連携するとなれば、教育委員会の姿勢がとても大事になります。学校の負担が大きくなるので、教育委員会の協力は不可欠だと思えます。同時に議会事務局にも汗をかいてもらわないといけないですし、議員も同じだと思えます。教育委員会に前向きになってもらうことが必要だと思えます。

**◎中山和行委員** 学校現場で主権者教育を実施することはとても大事なことだと思えます。

小中学校から政治に意識を持つことは大事ですが、学校の負担が大きいかと思えます。可能性があるのは、中学校の社会科や高等学校の公民の授業の中で、議会の仕組みの話や議員を呼んで話を聞くということであれば可能ではないかと思えます。

**◎野田武宏委員** 資料の6ページ、県民参画委員会を実施していることを改めて、正副委員長会議等の場で確認するということでしょうか。確認する意図がよく分からないので、教えてください。

**○佐藤政策調査課長** 現在においても、若者を対象に実施されていますが、より、

そういうことができるということを、再度、正副委員長会議の場で確認させていただくということです。

**○一丸議事課長** 補足ですが、常任委員会等で各委員会が所管する部局の政策に資するための調査ということで、県民の皆様にご意見を聞く場を設けています。

その中で、テーマによっては、若者や学生にご意見を聞くことも可能であるため、改めて県民参画委員会で若者や学生が参加できる場を設定できるということを周知させていただき、意味で記載しております。

**◎加藤誠一委員長** あえてもう一度言っているだけなので、特別新しいお話ではありません。

**◎野田武宏委員** 積極的に若者の声を聞くというならば分かりますが、改めて周知したとしてもあまり変わらない気がします。

また、参加者へのフィードバックは何かされているのでしょうか。お話を聞いてこうなりました、はベストですが、このようなお話を聞きました、ということをごホームページなどに掲載されておられるのでしょうか。

**○一丸議事課長** 県民参画委員会の結果等につきましては、ダイジェスト版になりますが、ホームページに公開し、情報提供させていただいております。

**◎野田武宏委員** その結果を参加者に直接届けているのかどうか、ということです。ドットジェイピーの方々もそうですが、議論したことを公表することに価値を感じる方もいらっしゃると思いますし、ベストとしてはレスポンスがあれば参加したい方も増えるのではないのでしょうか。

**◎駒井千代委員** 若者の関心が低いのは、自分たちに関係することが議会で決まっているということをご知らないからなので、若者に関係することは積極的に県民参画委員会を開催するということを決めればよいのではないかと思います。

**◎清水ひとみ委員** 学校等で実施するものについて、小学生や中学生にも政治に関心を持っていただきたいのですが、学校の現状を考えると、学校で実施することは難しいと思います。まずは、議員と話すことの呼びかけを高校生にしてはどうかと思います。高校生は自由度が高いので、サークル仲間と放課後の時間を使って意見交換をしてはどうかと思います。

例えば、環境・農水常任委員会では、農業高等学校の生徒たちと議論したり、国スポ・障スポ大会もありますので、運動部の生徒たちと意見交換してはどうかと思います。一度、そのような形で実施してから、次は何ができるのかが分かってくるのではないのでしょうか。

**○佐藤政策調査課長** 事務局としては、来年度から実施させていただき、問題点が見つかればブラッシュアップしながら、長く続けられるようにしたいと考えています。

**◎加藤誠一委員長** 新たな御意見をいただきましたので、もう一度確認いたします。

議論されていることを提供することについては、学校に出向いて取り組む際に、自分たちの将来の話であることを積極的にテーマとして入れてはどうかと思います。

また、ドットジェイピーのような活動をしている政治に興味がある若者から意見を聴く取組を、研修会等の場を活用するなど、どういう形ですのかということ、県民参画委員会を一般の方にも知っていただくようPRし、若者の政治的意識が低いことを意識した県民参画委員会を積極的に展開するということだと思います。来年には、子ども基本条例ができるので、そのような視点も持って取り組むべきではないかと思います。

さらに、高校生などに直接意見を聴くことを意識しながら、取り組んでいきたいと思えます。

まだまだ御意見はあるかと思いますが、今回の御意見も加味した形で資料として整理します。

出前講座となりますと、今後、予算が必要になるかと思えます。予算につきましては、副委員長や事務局とも相談し、御一任いただくことになるかと思えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

**◎加藤誠一委員長** それでは、整理したものを事前にお示しし、次回は委員長報告の原案をお示ししたいと思えますので、よろしくお願ひします。

**閉会宣告** 16時52分

県政記者傍聴：1社

一般傍聴：0人